



新宿区

しんじゅくの教育

平成20年(2008年)

12月15日発行

Vol. 80

編集発行

新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎3209-1111

http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/

元気にからだ動かしていますか？



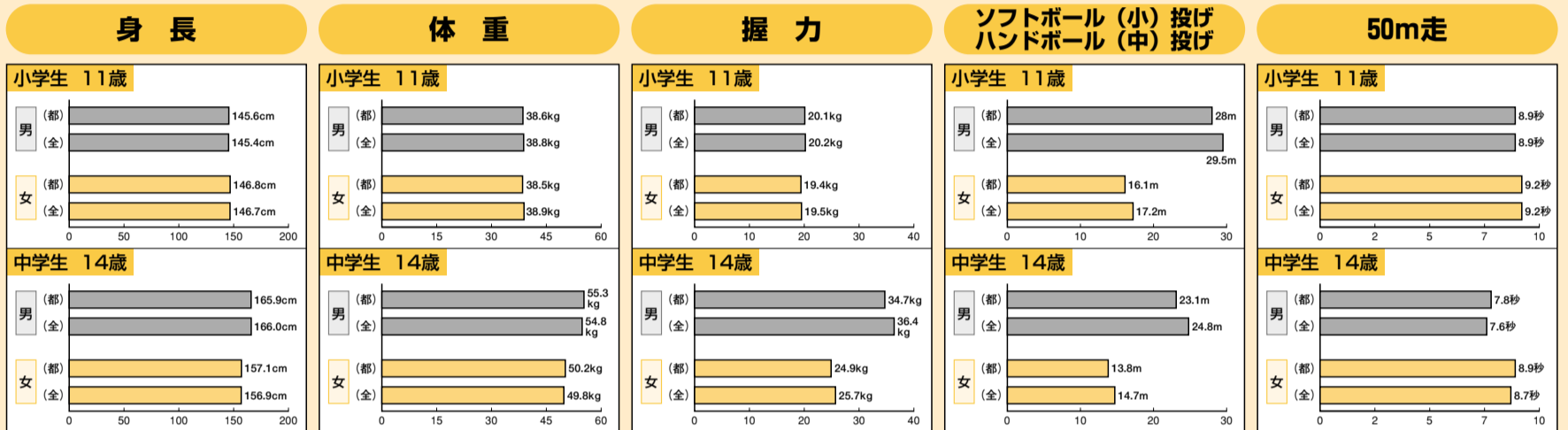
今日、子どもの遊び場やスポーツ活動の時間そのものの減少などによる子どもの体力の低下が、指摘されています。特に都会では、子どもが外で体を思い切り動かすことができる環境は多くありません。平成19年度東京都児童・生徒の体力テスト調査結果によると、東京都の児童・生徒の体格は全国平均とほぼ同じですが、体力・運動能力は全国より低い傾向にあります。また、体力テストと生活習慣の関係をみると、朝食の摂取、睡眠時間などが体力に影響している、日ごろからスポーツに取り組んでいる子どもとそうでない子どもとで二極化が進んでいるなどの問題が明らかになっています。各幼稚園・小学校では、体を動かすことを習慣づけ、子どもたちが楽しく体力を高めるための工夫をしています。

主な記事

- 2面 理科教育の充実に挑む
- 3面 スクールコーディネーターの仕事って…？ 家庭の教育力
- 4面 図書館からのおしらせ 女神湖行き観光付きバスのご案内

東京都の児童・生徒の体格と体力・運動能力

【平成19年度東京都児童・生徒の体力テスト調査結果】



●本調査は、都内区市町村立小学校48校、区市町村立中学校46校を対象とし、平成18年度の全国調査結果と比較しています。全国調査は、調査した翌年に公表されるため、前年度結果との比較としています。



富久小学校

「マッスルタイム」。これは富久小学校で毎週火曜日、朝8時25分から8時45分まで行われている体を動かす活動。季節により活動内容は変わりますが、鉄棒、竹馬、一輪車、なわとび、シャトルランなどの種目から子どもたちが自分自身で選び、できるようになったら先生に見せて、「マッスルがんばり表」に合格印を押してもらいます。決められた目標はありません。子どもたちにとってマッスルタイムは生活のリズムの一部。休み時間にも校庭で、鉄棒、なわとびの他に、竹馬や一輪車なども使い、自由にそして楽しそうに体を動かしています。



愛日幼稚園

愛日幼稚園では、新宿少年サッカークラブのコーチを招いて、サッカーを教してもらいました。まずは手始めに『手つなぎ鬼』のゲームで体をしっかり慣らしませう。いよいよゴールが用意されると、キーパーのかえるマンに向かって、思いっきりキック！なかには、キーパーの頭を越える力強いキックを見せる子もいます。すっかり慣れて、シュートが次々に決まるようになると「かえるマンよわーい！」「しっかりキーパーやって！」とかわいい野次が飛ぶことも。「サッカー楽しい！」「早くゲームやろうよ！」などと、時間いっぱいグラウンドを走り回った子どもたちですが、まだまだ元気があり余っているようでした。



津久戸幼稚園

10月14日、講師の戸井玲子先生を招いて、キッズピクスを行いました。ダンスだけではなく、走ったり、ゲームをおり交ぜたりして、どの子も自然に体を動かせるように工夫しています。子どもたちは、激しい動きが大好き。おなじみの「アイアイ」や「アルプス一万尺」に合わせて歌いながらジャンプしたり、グルグル回ったり。動きが速くなると「きゃあ！」と歓声をあげ、クシャクシャの笑顔で友達と大はしゃぎです。「今の子どもたちは、自然の中で体を動かすことができません。平衡感覚が劣ったなどと言われますが、そういったものを刺激するように複雑な動きを取り入れています」と戸井先生。家に帰って、家族で楽しく親子ピクスができるといいですね。

★学校わくわく情報局★

今回は地域の祭りや文化祭で日ごろの成果を発揮する児童・生徒の凛々しい姿をご紹介します。



大久保小学校 10/13 第27回大久保祭りで大久保太鼓を披露する6年生



四谷小学校 10/12 四谷大好き祭りでエイサーを踊る4年生



牛込第一中学校 10/25 第38回一中祭。全校生徒が校庭に円を描きフォークダンス

理科教育の充実に挑む

ひとりでも多くのミニ科学者を育てたい!

科学技術をめぐる世界的な競争が激しくなっている今、次代を担う科学技術系人材の育成が求められています。新学習指導要領では科学技術の土台になる理科教育の授業時数が増加。特に理科の「観察・実験」の時間は40年ぶりに増えます。このような流れの中、新宿区では教員の指導力の向上を目指し、年間を通じて授業研究に取り組んでいます。

10月15日(水)に行われた区立全中学校の理科教員による研修会では、平成17年度から新宿区と連携してサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(以下、SPP)を展開している早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構の准教授らを講師に迎え、最新の科学技術や解剖実験について勉強しました。日ごろ私たちがあまり見る機会がない先生たちの研修会、熱心な先生たちの様子をのぞいてみましょう。

今年度SPPの中心的な役割を果たしている石井義孝准教授から、早稲田大学連携SPP講座で行うプログラム(下記のお知らせ参照)のひとつ、酵素の働きを学ぶための生物発光実験について講義をうけました。真剣な眼差しで話に聞き入る先生たち。



「2時間のうちの1時間は考えることを中心としたプログラムです。正解を答えられるかどうかより、生徒から出てくるいろいろなアイデアを評価するコメントをしたいと思っています。」

日々の研究では、成果よりも失敗から学ぶことが多いという石井准教授。みんながそろって正解を出す優秀なクラスよりも発想が豊かなクラスの方がおもしろいといいます。続いて、もうひとつのプログラムの検討のため、最近行うことがなくなった解剖実験を体験。



今回は特別にお願いし、同大学生命医学科の南沢享教授がねずみとカエルの心臓の波形を観察する実験を行いました。人間に近い波形は同じ哺乳類のネズミのほう。先生たちはモニターを食い入るように見つめていました。

この後、生徒たちの興味・関心を引き出すための指導方法や提案などの意見交換が行われました。

早稲田大学連携SPP講座公開のお知らせ

テーマ:「身体から組織、細胞へ～見えないものを見よう～」
一般の方もご覧いただけます。是非ご覧ください。

講座内容 ★ 筋肉の動くところを見よう

筋繊維の収縮から心臓ペースアップしながら生体化学反応について学びます。

【西早稲田中】2/3(火)・2/10(火) 13:30～

【新宿中】1/27(火) 10:45～

11/25(火)・12/2(火)に西早稲田中で、12/5(金)に新宿中で、SPP講座第1弾「酵素パワーを解明しよう」が行われ、生徒は「ホルタルの光」を再現しながら、細胞内で起こっている生体化学反応の本質を見抜くことを学びました。



昨年度のSPPの様子

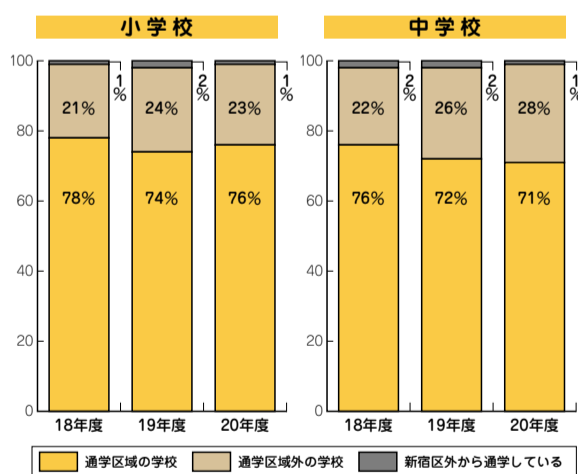
学校選択制度 アンケート結果のお知らせ



新宿区では、翌年度の新一年生を対象に、区立中学校は区内全域、区立小学校は隣接している学区から学校を選択できる学校選択制度を平成16年度より導入しています。導入から毎年、区立小中学校の新一年生の保護者を対象にアンケート調査を実施しています。平成20年度のアンケート結果がまとまりましたのでお知らせします。(16年度からのアンケート結果の詳細は、教育委員会ホームページをご覧ください)

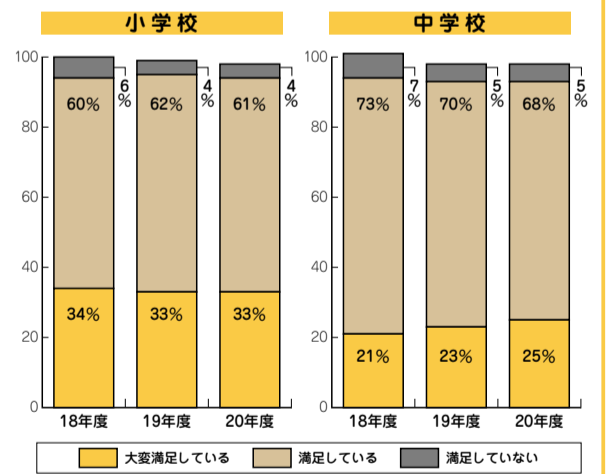
Q1 入学した学校はどこですか?

平成18年度から20年度まで「通学区の学校」を選択したのは、小・中学校ともに70%台となっています。中学校でわずかながら「通学区外の学校」を選択した割合が増加しています。



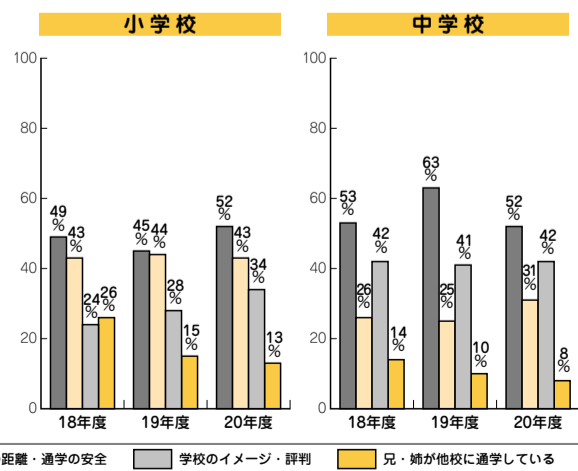
Q3 選択した学校(通学区も含まれて)に入学してよかったですか?

「大変満足している」と「満足している」の合計が、平成20年度、小学校94%、中学校93%となっており、過去2年間と変わらず高い水準になっています。



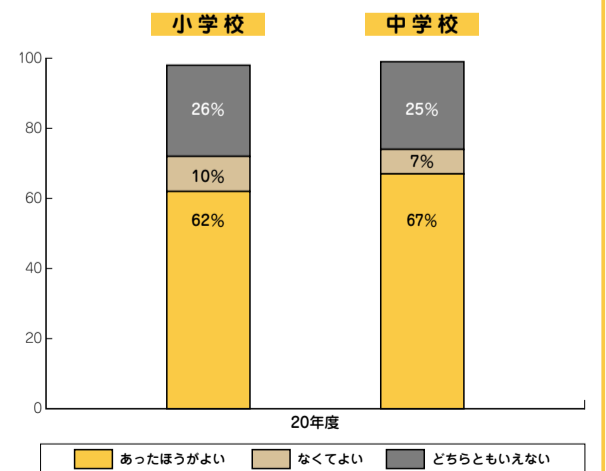
Q2 通学区の学校を選ばなかった理由(複数回答可)

これは通学区外の学校に入学した方を対象としたアンケートで、小・中学校ともに1番上位が「子どもの友人関係」となっています。



Q4 学校選択制度についてどう思いますか?

「あったほうがよい」と答えた方が全体の6割を超え、「なくてよい」を大きく上回っています。



*構成比は四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

●新宿区は、身近な環境に配慮した、地球にやさしいまちづくりを推進しています。「しんじゅくの教育」は、森林資材の保護とリサイクル促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

～学校の授業を支える縁の下の力持ち!～

スクール・コーディネーターの仕事って…?



スクール・コーディネーターは、地域の多様な人材や教育資源を学校に導入して、子どもたちの学習活動や体験活動を充実していくとともに、より地域に開かれた学校づくりを助け、学校と地域と家庭とをつないでいく重要な役割を担っています。今回は、各学校のスクール・コーディネーターの皆さんに、具体的な活動を通しての体験談を語っていただきました。

問合せ 教育指導課教育活動支援係 (5273) 4237

田植え・稲刈り体験のできる場所を求めて

天神小学校 大和 涼子さん

昨年度4月、5年生の担任から「田植え」が出来るところを探してほしいとの依頼がありました。前年まで体験が出来た場所は、移転してしまったとのこと。インターネットで探してみると、都内でも数カ所の公園で田植えが出来ることが分かりましたが、「近隣小学校の児童が、毎年行うので…」と断られるばかり。土日に体験出来る場所が見つかりましたが、休日に授業の一環として田植えをすることは、様々な理由から難しく、やむなくバケツ稲での授業となりました。そこで、今年度は、校長の許可を頂き、スクール・コーディネーターが企画する体験バスツアーとして全校児童・保護者に呼びかけ、希望者を募るかたちで、八王子での田植え、稲刈り体験が実現しました。実現には1年掛かりましたが、参加した方から、「新宿では味わえない農業体験でした。素足で田植え、鎌を使って稲刈りと…。緑いっぱいの田畑で、子どもたちがいつになく元気だったことが印象的でした」「夏場の手入れや稲刈り後の脱穀まで経験出来るプログラムがあったら、ありがたいです」など嬉しいお言葉を頂きました。希望者が多く、児童優先となってしまい、お断りする保護者の方が出てしまったことは心苦しく、次回への課題となりました。何事も簡単に出来ることはなく、やればやるほど自分の力のなさに愕然としますが、子どもたちの笑顔に励まされ、今日も学校に行く日々です。



地域と家庭と学校を結ぶ職場体験をコーディネート

西早稲田中学校 早坂 幸恵さん

スクール・コーディネーターとして初めて依頼された仕事が、中学生が行う職場体験の受け入れ先を依頼して回ることでした。西早稲田中学校では「地域に根ざした学校づくり」をコンセプトとしているため、受け入れ先はできるだけ通学区の事業者をと考え、大久保・百人町・戸塚・早稲田・高田馬場方面にある51の事業所をお願いしました。

一軒一軒訪問して感じたことは、受け入れ先の方が短期間の職場体験の中で仕事の大切さや、人と人との関わり方を学び取り取ってもらうにはどうすればいいのかなど真剣に考えてくださっているということでした。地域の一人として子どもを育てていこうとする意識の高さに驚かされました。その分、体験期間を終えて「生徒さんが一生懸命仕事に取り組んでくれて良かったよ。来年も是非受け入れたい」という声を聞くとほっと嬉しく、一方「おしゃべりばかりでやる気がみられない」という声を聞くと、せっかくな受け入れて下さった方の思いに応えられず、申し訳ない思いになります。

西早稲田中学校では特に夏休みに入ってからの実施となりますので、ご家庭においても関心を持っていただき、ただ職場体験に行ったというのではなく、その日の体験で感じた事や一日の仕事の内容、事務所の方とのやりとり等、家庭での会話の題材となればいいなと思っています。

生徒さんの職場体験を通して、地域と家庭と学校の連携を深めることができれば、とても有意義であり、子どもの豊かな成長につながっていくのではと感じました。

今、子どもたちに伝えたいこと…淀橋第四小学校 佐藤 文子さん

「戦争体験を話して下さる地域の方を探してもらえませんか」と声をかけてきたのは、3年生の先生でした。国語の授業で、『ちいちゃんのかげおくり』という作品をとりあげるとのこと。地域の方で、戦争時の小学校周辺の様子を話していただければということだったので、まずは淀橋第四小学校の卒業生の中から探せないかと、近所の知り合いから町会長さんなど、いろいろな方に声をかけさせていただきました。そんな中、淀橋第四小学校の卒業生で、今は隣町にお住まいのOさんという方が引き受けてくださることになりました。85歳というOさんは、当時は戸塚第三小の先生をしておられ、子どもたちを連れて草津に疎開していたそうです。防空壕のことなど、子どもたちは事前授業で戦争についての勉強をしていたので、Oさんのお話がよりリアルに感じたのでしょうか、熱心に耳を傾けていました。そんな時、ふと気づいたのです。現場の先生方の中に、戦争体験を語れる人は一人もいないということ。今さらではありますが、その事実にとってもショックを受けたのです。

戦争に係る授業は、現代、そして未来を学んでいくためにも欠かせない大切な授業です。しかし、それを体験者として語ってくださる方は、とても少ないのです。「あまり覚えていない」と言われたり、子どもたちの前で話すことが「恥ずかしい」と言われたりすることもありました。

戦争資料として、DVDや書籍はたくさんあります。しかし、〇〇ちゃんのおばあちゃん、おじいちゃんが直接話して下さることの方が、それらの何倍も子どもたちに伝わります。どうしたら、そういう地域の歴史を、声を残していけるのでしょうか。

スクール・コーディネーターになって2年。地域の方々とお話する機会が増えました。そして、地域の中には子どもたちに伝えていかなければならないことがたくさんあることも知りました。それらを伝えようと思う反面、その難しさも実感しています。今、私たちに何ができるのか、何をしていかなければならないのか…大きな課題となりました。



子どもたちの朗読を聞くOさん(中央)と淀四小の同級生というKさん(中央左)

連載 子どもを豊かに育てる 家庭の教育力

第2回 保護者同士の学びあいの場 ～家庭教育学級・講座～

第2回はPTAが企画・運営し、教育委員会が共催する「家庭教育学級・講座」を取り上げます。

「家庭教育学級」は、小学校のPTA・学校・地域の代表者等で構成する運営委員会が、ブロック(1ブロック3校程度)単位で実施する継続した講座で、「家庭教育学級」は、区立幼稚園・中学校・養護学校の各PTAが単独で実施する講座です。

何故、教育委員会ではなくPTAが主催するのでしょうか。それは、「自分たちの取り上げたいテーマは何か」は各PTAによって異なり、また、一番必要な講座をわかっているのは保護者自身だからです。講座の企画・立案をするなかで、子育ての中心である親自身の教育力の向上を目指し、また、親同士が交流し、子育てについて話し合える場をつくることも講座のねらいです。西新宿幼稚園と余丁町小学校の家庭教育学級・講座の担当PTAの方に実際に企画・運営に携わった感想を伺いました。

西新宿幼稚園では、「親子のコミュニケーション」をテーマに劇団風の子東京の大森靖枝さんを講師に招き、大森さん自身が「幼稚園児」になって園で過ごした体験や、親としての心構えなどのお話を伺い、楽しい親子遊びも体験しました。「終わってみると、意外と何とかなったというのが感想です。託児準備や垂れ幕の作成など、経験者や手際の良い方が助けられました。一人だっただけでできなかったけれど、皆さんが経験を生かして力を合わせてできたところがすばらしいと思いました。また、余丁町小学校では、東京富士大学の浮谷秀一先生にご専門の心理学の視点から、子どもを理解し状態を知ることによりよい親子のコミュニケーションをはぐくむという講演をしていただきました。「思いがけず委員長になって不安でした。でも同じ幼稚園だった方が副委員長・会計・書記などを進んで引き受けて助けてくれました。委員の方や役員の方など本当に様々な方に助けていただいていたうれしかったです。」

委員は、講座の企画・運営などの経験が

ない方がほとんどですが、周囲の助けで無事講座を終えられたと異口同音に語ってくれました。お二人とも、それまでに普段の学校・園生活の中で支えあえる人間関係を作っていたことが大きく関係したのではないのでしょうか。

また、「この係をしなければ違う学年の方と仲良くなれることもなかったと思います。同じお母さんとの接点が増えいろんな情報も得られて良かったです」学校に行くことで子どもたちの様子がわかったり、多くのお母さんたちと話すことができたりとよい経験になりました。など、委員の皆さん自身が、子育ての課題を自ら考え講座を実施することで得ることも多いようです。

講師の大森さんは、「自分の子育てがきっかけです。頭ではわかっているのに、思春期の子どもとのコミュニケーションがうまくいかない、そんな私を支えてくれたのは地域の方でした。間違っていることをきちんと叱ってくれたり励ましてくれました。私は、子どもにかかわる大人、親も先生も地域の人みんなが繋がって仲良くなるのが、子どもたちを守りたくむ一番の方法だし、親自身を守ることもなると思っています。家庭教育学級・講座は大人の良い関係づくりの場でもあります。委員の方は、自分たちが行っていることが地域を変えることに繋がっているという意識と自信を持ってほしいです。」



こうした手作りの家庭教育学級・講座は毎年、各幼稚園や学校で60回程度実施されています。教育委員会では、親同士の関係づくりの場・学びあいの場としてこれからも支援していきたいと考えています。

問合せ 教育政策課地域家庭教育係 (5273) 3147

図書館からのお知らせ

みんなで
図書館へ行こう!

図書館では本の貸出のほか、調べ学習のお手伝いやおはなし会などのイベントも行っています。この機会にぜひ図書館へおこしください。

*区立図書館の利用サービスが充実します。

新宿区立図書館では平成21年2月3日(火)から次の新たなサービスを始めます。

- 1 中央図書館の4階にある視聴覚資料を3階に移転して、取扱時間を拡大します。
- 2 ICタグの導入により、貸出処理の迅速化等を図ります。また、特別図書整理期間を短縮し、開館日を増やします。
- 3 レファレンス専用カウンターを全館に設置します。
- 4 全館に自動貸出機を設置し、ご自身の操作で、図書館資料の貸出手続が出来るようになります。
- 5 インターネットの利用が可能なパソコンを全館に設置します。(一部サイト検索の制限有り)

ご利用方法等の詳細については、次号でお知らせします。

新宿区立図書館 行事のお知らせ

館名	月日	曜日	開始時間	行事名	内容	会場名	問合せ先
中町	12月24日	水	15時00分	子ども映画会	ミッキーマウスのメリークリスマス・おじいさんと不思議なおくりもの	中町児童館	3267-3121
大久保	12月24日	水	15時00分	冬のおたのしみ会	読み聞かせなど	大久保図書館絵本コーナー	3209-3812
子ども	12月25日	木	14時00分	子ども映画会	マッチ売りの少女・大男とクリスマスツリー・ミッキーマウスとゆかいな仲間たち	中央図書館4階視聴覚ホール	3364-1421
子ども	1月7日	水	詳細は問い合わせ	カルタ大会・百人一首大会		子ども図書館おはなしのへや	3364-1421
鶴巻	1月10日	土	13時30分	カルタであそぼう		鶴巻図書館3階会議室	3208-2431
北新宿	1月17日	土	14時00分	韓国語のお話会		北新宿生涯学習館2階 レクリエーションホール	3365-4755
子ども	1月17日	土	14時00分	子ども映画会	からすのパンやさん・雪渡り	中央図書館4階視聴覚ホール	3364-1421

おはなし会については新宿区立図書館ホームページをご覧ください。子ども図書館へお問い合わせください。

問合せ 中央図書館 (3364) 1421

区民のみなさまへ

図書館から この時季おすすめの1冊

日に日に寒さが身にしみる季節です。
暖かいお部屋の中でゆったりと読書するのもいいですね。

『時が滲む朝』

著者：楊逸
出版社：文藝春秋

この作品の著者は、デビュー作「ワンちゃん」で第138回芥川賞候補になり、本作品で初めて外国人として芥川賞を受賞した。親友である二人の中国人青年が1989年の天安門事件で挫折するまでと、その後日本で民主化運動を続け、北京オリンピック前夜までの人生の苦悩や哀歓を通して、成長していくさまを描いた青春小説。

『のぼうの城』

著者：和田竜
出版社：小学館

この作品は、第139回直木賞候補となった。天下統一を目指す豊臣秀吉の軍勢が唯一落とせない城があった。周囲を湖で囲まれ「浮城」と呼ばれていた武州・忍城。城主は領民から「でくのぼう」を略して「のぼう様」と呼ばれ誰にも及ばない「人気」があった。城主成田長親は、誇れることは何もない、武将たる智・仁・勇もない。その長親が戦を選択、城内・重臣たちは大混乱になり忍城戦は幕を開ける。

『サクリファイス』

著者：近藤史恵
出版社：新潮社

「サクリファイス」とは犠牲。チームの力で戦うロードレース、自分のチームから優勝者を出すために、「エース」を「アシスト」の選手がサポートする。その競技中に起きた悲劇は、単なる事故のはずだった。ところが、事故の「真相」は二転三転する。馴染みの薄い自転車ロードレースの世界を丁寧にわかりやすく描ききった青春ミステリーの逸品。

蓼科でスキー三昧！ 女神湖で雪国体験！ 新宿区発ヴィレτζジ女神湖行き観光付きバスのご案内



新宿の区外学習施設ヴィレτζジ女神湖がある白樺高原は、冬季は降り積もった雪により、一面の銀世界となります。女神湖の近くにはいくつものスキー場があり、雪に触れ親しむ人々で毎年盛況です。

今年度から運行を開始した「新宿区発ヴィレτζジ女神湖行き観光付きバス」では、この絶好のロケーションを活かした、他にはないツアーをご用意しています。冬の定番、スキーツアーは初・中級者用と上級者用の2コースがあり、どちらのコースにもインストラクターが同行するため、スキーは初めてだという方にも、スキルアップしたい！という方にもお楽しみいただけます。また、豊富な雪を用いた「かまくら作り」をする雪国体験コースもあります。自分たちで作ったかまくらの中で味わうおしるこは、格別の美味しさでしょう。

観光付きバスツアーの詳細・価格や予約等は、ヴィレτζジ女神湖のホームページ (<http://www.megamiko.jp/>) をご覧いただくか、あんしん宿予約センターへお問い合わせください。各出張所・区民センター・図書館等でもチラシを配布しています。もちろん、通常のご利用もお待ちしています！

【冬季予定ツアー】



スキー場直行便
初・中級者(2泊)
1/10(土)~1/12(月)
3/7(土)~3/9(月)
3/20(金)~3/22(日)
料金 大人1名
21,400円~26,000円

スキー場直行便
上級者(2泊)
3/12(木)~3/14(土)
3/16(月)~3/18(水)
3/22(日)~3/24(火)
料金 大人1名
19,900円~26,000円

かまくら作り体験コース
(1泊)
3/14(土)~3/15(日)
料金 大人1名
13,700円~16,000円

問合せ

- 観光バスの受付窓口
あんしん宿予約センター 03 (3263) 1415
ヴィレτζジ女神湖 0267 (55) 6100
 - 一般利用の受付窓口
日通旅行ビジネスサービス 新宿区役所内営業所
03 (5273) 3881
- ※ 年末年始はヴィレτζジ女神湖に直接お問い合わせください

教育委員会の動き

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。今号では、平成20年6月2日から11月7日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

■議案

○平成21年度使用新宿区立小学校教科用図書の採択について

- 平成21年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について
- 戸山図書館・北新宿図書館・中町図書館の指定管理者の指定について
- 新宿区教育ビジョン素案について
- 教育財産の取得の申出について

■報告事項

- 区有施設の天窗(トップライト)設置状況調査について
- 愛日幼稚園・中町保育園の子ども園化について
- 牛込地区学校適正配置の考え方と取り組み方針について
- 原油等価格高騰緊急対策の実施について
- 女神湖高原学園の観光付きバスの運行開始について

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、区役所本庁舎の門前掲示場に掲示しています。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴するのに不相当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不相当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ 教育政策課管理係 (5273) 3070